

守れ! 茨城の海

動機

ネットで海のゴミについてのニュースを見て、茨城の海の現状が気になった。
茨城県は南北にわたって太平洋に面しており、「海」は生活や観光にも強い結びつきがある。
話題になっているプラスチックゴミが本当に多いのか？海のゴミを少しでも減らすために自分達ができる対策はあるのか？調べてみることにした。

茨城の海について

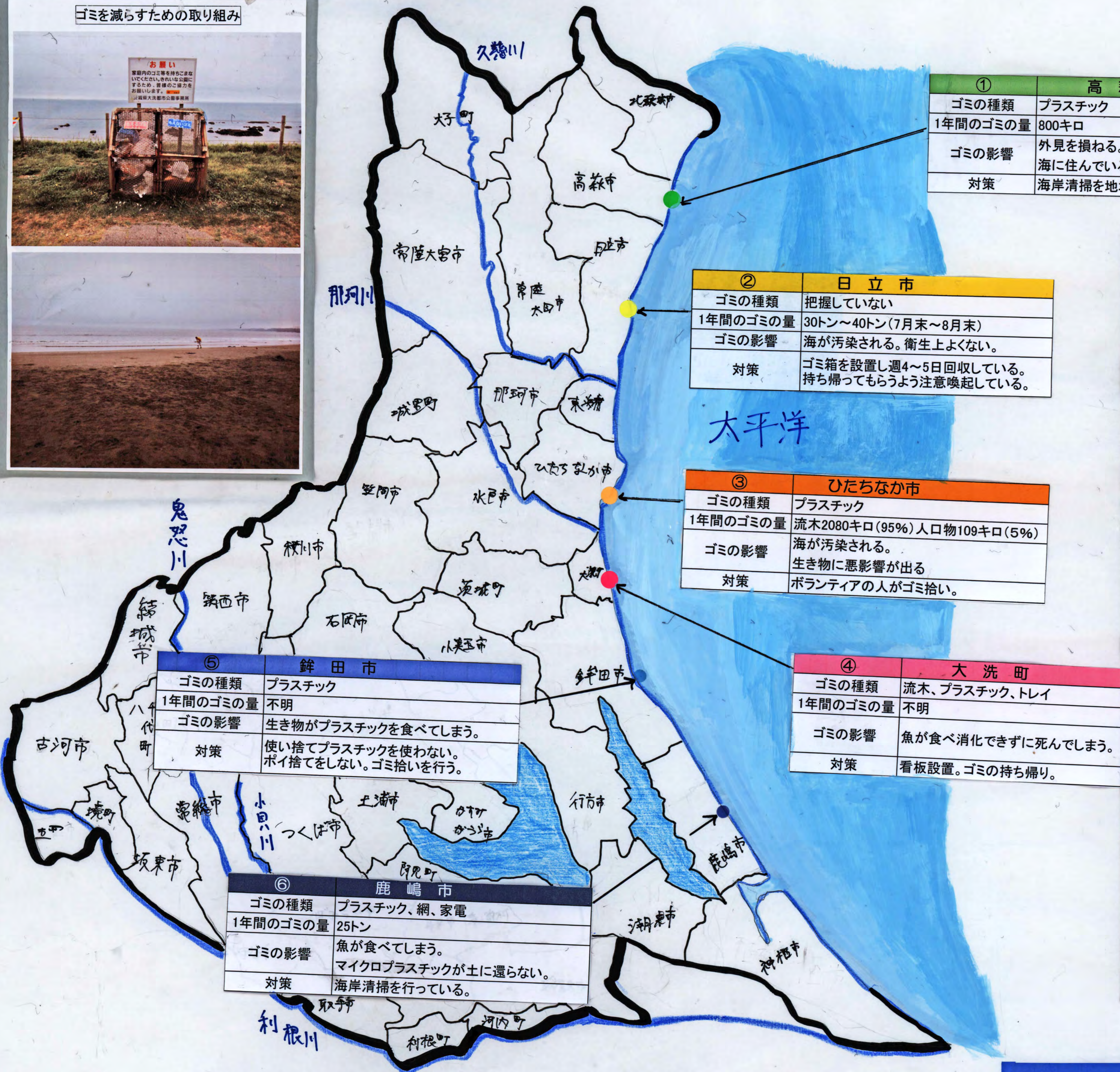
- ・海岸総延長は約193km。
- ・大洗町以北等に多くの漁港が存在するとともに茨城港、鹿島港の2つの重要港湾を中心とした港湾活動が盛ん。
- ・海水浴、キャンプ、釣り、サーフィン等の海岸レクリエーションが盛ん。

水戸市立千波中学校2年
大貫 柊太・木村 蓮
田邊 晴輝・飛田 波栄



2022.8.18 大洗海岸

ゴミを減らすための取り組み



現状の海岸



まとめ

- ・海のゴミを調査し、どの海岸もプラスチックゴミと流木が多いことが分かった。
- ・ペットボトルやレジ袋、食べ物が入っている袋などは利用客のポイ捨てや置き去りよりも、町で捨てられたゴミが道路脇の排水や小さな川に落ち、そこから大きな川へ、そしてその先にある海へたどりついてしまうことがゴミを発生させる原因だった。
- ・プラスチック類のゴミのうち、ペットボトルのキャップが多く、中には中国や台湾の言語表記のものもある。
- ・近年はゲリラ豪雨や台風などの災害が増え、大量の流木などが漂着してしまうという問題も起きている。
- ・各自治体や海を守る団体がゴミ箱を設置したり、定期的に清掃活動を行っている。また、個人でも早朝からすんでゴミ拾いを行ってくれる人によって海が守られている。

感想

プラスチック類のゴミは自分達で意識することで減らすことができる。排水溝から海のゴミにつながっていることが分かったが、普段自宅付近の道路でゴミを見かけることはほとんどない。多くの人はポイ捨てをしないし、ゴミ拾いをしてくれる人たちに守られているのだろう。ただ、花火大会や大きなイベントの後は人にまぎれゴミを置き去りにしたり、無意識にゴミを落としてしまっているのを見かける。ゴミを減らすために、

- ①必要なものを消費してゴミを減らす。
- ②プラスチックの利用を最低限に抑える。
- ③清掃活動など海の環境を守る活動に参加する。

これら3つのことを実践し、豊かな自然、大切な資源である茨城の海を守っていかなければならないと思った。

参考文献

- ・茨城県庁資源循環推進課、高萩市役所、日立市役所、ひたちなか市役所、大洗町役場、銚田市役所、鹿嶋市役所聞き取り
- ・茨城県ホームページ(海岸漂着物対策、茨城県海岸漂着物対策推進地域計画、茨城沿岸の現状と課題)
- ・環境保全茨城県民会議事務局ホームページ